

令和2年度第1回兵庫県都市計画審議会における委員の主な意見

1. コロナ禍に関する意見

- 感染症対策と今後の都市計画との関連の検証が必要。
- マスタープランは、ポストコロナの兵庫の将来像が十分議論され提示されてから提案すべき。
- 但馬・丹波など地方の農業振興、生活施設（教育・医療・雇用）をより充実させるべき。
 - ・ 地方と都市間の物流を支える社会基盤整備の充実も不可欠。
 - ・ 医療施設をはじめパンデミックでも耐えうる社会基盤水準を検討する必要。
- これまでの災害とは異なる事態についての対応の記述が必要。
 - ・ 地方に自立生存圏を形成し、平時から都市住民が、そことつながる都市と地方が共生する関係が必要。
- インバウンドに頼らない地域づくりの検討が必要。

2. その他の主な意見

- 近年の豪雨を踏まえた砂防事業等の防災対策の推進が必要。
- 中山間地域の集落の空き家対策等活力の維持が必要。
- 中山間地域の交通手段の確保を図るため自動運転に対応した道路整備が必要。
- どこでもAI等が利用できるよう通信基盤の整備が必要。
- コウノトリ但馬空港の羽田就航に向け滑走路延長が必要。